

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像  
・自分も人も大切に子ども  
・主体的に考え、行動できる子ども 《時を守り 場を清め 礼を正す》

令和7年度 重点目標 「心地よい学びがあふれる学校づくり」  
・学び多い、心地のよい授業となるよう、授業内容・方法を研鑽する。授業のUD化を進める。  
・居心地のよい教室環境、よりよい友だち関係の構築を心がけ、心地よい教室づくりを進める。  
・心地のよい職場となるよう、風通しのよい環境づくりに努め、互いの時間を尊重しあう。

確かな学びの現状  
・研究教科として国語を取り上げ、実践を通した研修を進めた。子どもたち自身が国語の学習内容のつながりを意識しながら学習し、着実に力をつけている。  
・読書について、学年に応じためざす姿を設定し、図書室の整備、子どもたちへの指導を行った結果として、「読書が好きだ」ということが増え、図書館の使用も増えている。  
・主体的に学習する姿が見られる一方、それが「国語が好きだ」「算数が好きだ」という教科への愛好的態度にはつながっていない。

豊かな心・健やかな体の現状  
・道徳、人権の学習、またさまざまな取組を系統的に実施できた成果として、自分や友だちのよさを認識し、違いを認め合おうとする学級や学年の土台ができあがっている。  
・たてわり活動を積極的に取り入れていることで、下級生に対する親切心や、上級生に対するあこがれの気持ちが増えてきている。  
・ここ数年、ウイルス感染防止のためのさまざまな形での運動制限や、校舎増築にかかわり運動場がせまくなっていったことにより、「運動が好きだ」と考える児童の割合が低下している。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学ぶ環境	図書館を活用し、進んで読書する子や育てる。タブレットを活用した、授業づくりを行う。ユニバーサルデザインの観点を大切に授業を行う。	図書館を活用し、進んで読書する。	低学年「楽しんで読書している」、中学年「幅広く読書している」高学年「進んで読書している」の項目で、肯定評価80パーセント以上	アンケート	学期初め			
			タブレットを活用し、進んで学習に取り組んでいる。	「学習で週に一回以上タブレットを使っている。」の項目で、肯定評価80%以上	アンケート	学期末			
			複UDスタンダードをもとにした授業をする。	「複UDスタンダードを意識して、授業を行っている」の項目で肯定評価80パーセント以上	学校教育アンケート(教職員)	学期末			
	学ぶ意欲	問いを自分事として捉え、進んで学習に取り組む子を育成する。そのために教材研究を行い、手立てを考える。	授業の中で、子どもたちが問いを自分事として捉えられる手立てを考え、授業づくりを行う。	「自らの問いをもって、学習に取り組んでいる」の項目で肯定評価70パーセント以上	アンケート	学期初め			
			全ての教科において、子どもたちが主体的に取り組める手立てを考え、授業づくりを行う。	「子どもたちが主体的に取り組むことができるような手立てを考えて、授業づくりを行っている」の項目で肯定評価80パーセント以上	学校教育アンケート(教職員)	学期末			
	深い学び	学びのつながりを意識して授業を行い、互いの意見を聞きあい、学び合いながら学習を深めていくことができる子を育成する。	子どもたちが、授業の中で学習のつながりを実感する。	「これまでに習ったことをいかして、考えることができる」の項目で肯定評価80パーセント以上	アンケート	学期初め			
子どもたちが、互いの意見を聞きあい、すすんで学習に取り組んでいる。			「互いの意見を聞きあい、学び合いながら学習を深めている。」の項目で肯定評価80パーセント以上	アンケート	学期初め				
豊かな心・健やかな体	人との豊かなつながり	一人一人に安心できる居場所があり、人とのつながりの心地よさを感じ、大切にしようとする子どもを育てる。	人権教育、道徳教育を計画的・効果的に推進し、豊かな心を育成する。	「自分にはいいところがあると思う」の項目で肯定評価80パーセント以上	学校教育アンケート	学期末			
			支援学級や異学年の交流を通して、立場の違う子との関わり方を学び、思いやりの心を育てる。	低・中学年「相手の気持ちを考えて行動している」高学年「自分とかかわりのある人の気持ちを考えて行動している」、全学年「一人ひとり違いがあることを認めたいと思う」の項目で肯定評価が80パーセント以上	学校教育アンケート	学期末			
	正しく判断し行動する	一人ひとりを尊重し、個性の伸長をはかり、社会性を高める。正しく判断し、「生きる力」や「温かい人間関係づくり」ができる子を育成する。	「いじめは絶対にしてはいけないものだ」という認識をもつことができる。	いじめに関するアンケートを取り、「いじめはどのような理由があっても決してしてはいけないものである」という項目で肯定評価が限りなく100%に近い数値	学校生活アンケート	学期末			
			たてわり活動に主体的に取り組む、異学年の子との関わり方を学ぶ。	「たてわり活動を楽しみにしている」、高学年「たてわり活動で、企画や運営をすることにやりがいを感じる」の項目で肯定評価が80パーセント以上	学校教育アンケート	学期末			
心と体の調和	自己の心身について理解し、よりよく向上させようとする態度を養う。	健康な体を作るための生活習慣を考え、実践する子を育成する。	「保健だより、保健指導、健康についての授業から、自分自身の健康について考えることができた。」「朝ご飯を食べている」の項目で肯定評価が80パーセント以上	学校教育アンケート	学期末				
		体力向上の取り組みを計画的に実施する。	昨年度の体力テストの結果から向上がみられるかで判断	体力テスト	学期末				
学校群	安全・安心な学校づくり	「小中一貫ランドデザイン」に基づく小中一貫教育の充実を進める。	児童生徒の情報交換を密に行う。	情報交換会を定期的開催する。(学期に一回以上)	開催率	学期末			
			学校間での授業ルールなどを合わせる。	各教職員が夏季に行われる合同研修に参加する。	参加状況	学期末			

校長より(年度末) \_\_\_\_\_ 学校関係者評価者から(年度末)